

施策評価シート 対象事業年度 令和 4 年度

政策	II 港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	施策推進 責任者	総務部長・港営部長・建設部長
重点施策	2 地震・津波対策の充実・強化		
施策	3 港の安全性・信頼性・危機管理の向上		

**政策II：防災**  
重点施策2・施策3

1. PLAN(目的・展開内容)

※シート中、「感染症」とあるのは、すべて「新型コロナウイルス感染症」を指す。

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういう状態にしたいのか)	防護機能の強化により背後地域を高潮や津波から守り、災害に強い港湾機能を提供するとともに、災害発生時に備えた訓練の実施など、利用する人々が安全安心に利用できる、信頼される港
	サービスの対象物(何を)	防潮扉などの防護機能や防災対策、保安対策などの防災危機管理機能		
展開	<p>(重点施策2) 発生が懸念されている大規模地震による津波から、港の利用者や背後地域の人々の生命と財産を守るため、地震・津波対策として防潮壁改良を行うなど、防護機能の強化を関係機関と連携しながら着実に進める。また、大江川地区については、防護ライン変更に伴う防潮壁の整備を行うとともに、地震に伴う液状化による汚染土壌の拡散を防止する対策などを進める。</p>			
	<p>(施策3) 背後圏の人々の生命と財産を守るため、防潮扉改良等による防護機能の強化や、建築物の地震対策に取り組む。港湾施設の老朽化に対し、予防保全の観点から計画的な維持管理に取り組み、経費の抑制と平準化を行いながら、安全性、利便性を確保する。特定外来生物であるヒアリ等への対応については、引き続き、関係機関と連携して水際での防除に取り組む。災害発生時の的確な防災活動に向けて、職員に対する訓練などを行うとともに、沿岸防災情報管理システムなどの適切な維持を行うなど、防災・危機管理機能の強化に取り組みます。また、台風襲来時の防災活動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充に取り組む。災害発生時に港湾機能の早期回復を図るため、ワークショップなどを通じて名古屋港BCPの実効性を高めるための検討や訓練などを実施する。埠頭訓練を実施するとともに、関係機関と情報共有を図り、確実な保安対策を実施する。</p>			

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

4. ACTION(課題・5年度以降の取組方針)

(1)重点施策2

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針
					上段: 成果目標 目標値						5年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等			
					中段: 成果目標 実績値								成果		
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)															
重施 02 事01	防潮壁改良事業 (事業推進課)	整備延長 【進行管理型】	改良が完了した整備延長(km)	大手ふ頭地区、築地東ふ頭地区、大江川地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区の防潮壁改良を行うとともに、ガーデンふ頭地区、大江ふ頭地区、大江川地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区の利用者調整および設計を行った。さらに、老朽化対策として、船見ふ頭地区、稲永ふ頭地区の防潮壁改良を行った。	1.74km	2.23km	3.03km	3.84km	4.2km	遅れ	継続	拡大	拡大	整備が必要な全ての箇所において事業着手しているものの、令和4年度は費用のかかる地盤改良工を主に行ったため、整備延長は0.3kmに留まり目標値の達成には至らなかったが、背後地域の生命と財産を守る重要な施策であることから、一層の進捗を図る必要があるため。	今後の施策成果目標(津波による浸水からの防護面積)達成に向けてコストを拡大するとともに、防潮壁背後の狭い場所での施工方法などの施工計画について、利用者調整を進めながら進捗を図っていく。
					1.30km	1.50km	2.20km	2.50km				資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。			
				696,532千円	692,968千円	1,349,375千円	1,615,468千円								
重施 02 事02	大江川地区地震・津波対策事業 (事業推進課、環境担当)	大江川地区締切施設整備 進捗状況 (全6工程) 【進行管理型】	①基本設計 ②実施設計(~R1) ③環境影響評価(R2) ④公有水面埋立免許取得(R2) ⑤埋立護岸整備(~R4) ⑥盛土 ⑦排水施設整備	大江川地区締切施設整備については、海上部締切施設の設計(実施設計)を行い、完了した。また、陸上部防潮壁は引き続き護岸工事を行った。汚染土壌対策については、公有水面埋立に向けた埋立免許願書の作成と、名古屋市と協同し公有水面埋立に向けた環境影響評価を行った。	2工程	4工程	5工程	5工程	6工程	順調	継続	維持	維持	名古屋港の防災機能を強化し、背後地域の生命と財産を守るため。	大江川地区締切施設の整備には、周辺関係者との調整を行いながら事業進捗を図っていく必要がある。汚染土壌対策については、名古屋市と共同して行う事業であり、市と工程等について調整を図りながら事業進捗を図る必要がある。
					2工程	3工程	5工程	5工程				取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
				133,420千円	147,275千円	832,102千円	774,451千円								

(2)施策3

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針
					上段: 成果目標 目標値						5年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等			
					中段: 成果目標 実績値								成果		
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)															
施03 事01	堀川口防潮水門の地震・津波対策 (工事課)	既設躯体への耐震補強工事 完了までの進捗状況 (全4工程) 【進行管理型】	①耐震性の検証(R1) ②設計(R1) ③工事着手(R3) ④工事完了(R3)		3工程	3工程	4工程		4工程(累計)	順調	完了				
					3工程	3工程	4工程								
				320,411千円	303,607千円	125,548千円		3年度完了							

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針
					上段: 成果目標 目標値						5年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等			
					中段: 成果目標 実績値								成果		
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)															
施03 事02	建築物耐震対策整備事業 (施設工事担当)	建築物(上屋等)における 地震対策数(棟) 【進行管理型】	建築物における地震対策 数	稲永ふ頭南1号上屋の地震対策を実施した。	2棟	3棟	5棟	6棟	7棟(累計)	順調	維持	維持	耐震性能が不足する建築物の地震対策を引き続き実施していく必要があるため。	建築物の地震対策は、港の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続して事業を進めていく必要がある。	耐震性能が不足する建築物の地震対策を引き続き行っていく。
					3棟	4棟	6棟	7棟			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					347,505千円	403,770千円	390,980千円	230,693千円							
施03 事03	港湾施設等の維持補修 (維持管理推進担当)	点検診断率 【単年度管理型】	点検診断が必要な施設における点検診断の実施割合	老朽化した施設の維持補修を計画的に行った。	100箇所	100%	100%	100%	100%	目標値どおり	維持	維持	港湾施設等の適切な維持補修により、施設の安全性確保や長寿命化を着実に進めていく必要があるため。	今後も維持管理計画に基づく計画的な点検診断を適切に実施していく必要がある。	維持管理計画に基づき、引き続き、計画的な点検(土木施設の点検業務については4月から外部委託)診断を実施し、適切な補修スケジュールの決定に努めていく。
					100%	100%	100%	100%			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					2,753,519千円	2,519,204千円	3,102,594千円	3,652,785千円							
施03 事04	ヒアリ等対策の推進 (港営課)	ヒアリ等の定着件数 【単年度管理型】	定着が確認された件数	生息モニタリング調査をコンテナターミナルにおいて計6回、臨港緑地・臨港道路において計4回行い、ヒアリ・アカカミアリをそれぞれ1事例確認した。また、過去のヒアリ・アカカミアリの確認地点等における環境省調査に協力し、アカカミアリを1事例確認した。なお、本事務事業のうち生息モニタリング調査および防除等にかかる令和5年度からの委託化について検討を進めた。	0件	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	維持	維持	ヒアリ、アカカミアリともに、発見後速やかに緊急防除を行い、その後も発見箇所における確認調査を実施することで、定着防止を図ることができたと考えられ、現状の方向性は有効であると判断できるため。	港の安全性・信頼性の維持・確保のため、ヒアリ等が定着しないよう調査を継続する必要がある。	令和4年度の取組が効果的であったと判断し、同様の取組を継続するとともに、調査業務等については4月から外部委託しており、引き続き港の安全性の向上に努めていく。
					0件	0件	0件	0件			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					13,952千円	16,410千円	16,471千円	17,071千円							
施03 事05	堀川口のポンプ施設・防潮水門および港内の防潮扉等の管理・運用 (運河河川担当)	災害時の施設の故障発生件数 【単年度管理型】	稼働施設の災害時の故障発生件数	管理している設備を計画的に直営および外部委託にて補修を行い、災害時の故障発生を防ぎ異常なく稼働した。	0件	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	維持	維持	堀川流域市街地を高潮や津波から守るため必要不可欠な事業であり、適正な管理を推し進めていく必要があるため。	施設の経年劣化に対応した適正な維持管理をしていく必要がある。	堀川流域市街地を高潮や津波から守るため、効率的かつ適正な維持管理を図っていく。
					0件	0件	0件	0件			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					249,349千円	200,047千円	223,492千円	210,534千円							
施03 事06	中川口等におけるポンプ施設・通船門の管理・運営 (運河河川担当)	災害時の施設の故障発生件数 【単年度管理型】	稼働施設の災害時の故障発生件数	管理している設備を計画的に直営および外部委託にて補修を行い、災害時の故障発生を防ぎ異常なく稼働した。	0件	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	維持	維持	中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため必要不可欠な事業であり、適正な管理を推し進めていく必要があるため。	施設の経年劣化に対応した適正な維持管理をしていく必要がある。	中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため、効率的かつ適正な維持管理を図っていく。
					0件	0件	0件	0件			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					166,583千円	202,704千円	168,930千円	197,267千円							
施03 事07	防災教育・訓練の推進 (危機管理課)	防災教育・防災訓練実施回数 【単年度管理型】	防災教育・防災訓練実施回数	防潮扉閉鎖訓練(4回)、災害図上訓練(4回)、災害対応力強化訓練(3回)、消防訓練(2回)、防災訓練(1回)および防災講演会(1回)の合計15回実施	10回	13回	13回	15回	15回	目標値どおり	維持	維持	防災教育・訓練は継続的に実施する必要があるため。	防災教育・訓練は継続的に実施する必要があり、訓練内容を工夫することにより災害対応力の向上を図り、その実効性を高めていく必要がある。	防災教育や訓練の終了後に勉強会等を実施し、課題を抽出の上、さらに効果的な防災教育、訓練を実施することにより災害対応力の強化に取り組んでいく。
					11回	13回	15回	15回			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					13,479千円	14,118千円	13,349千円	12,848千円							
施03 事08	名古屋港湾機能継続計画 (名古屋港BCP)の推進 (危機管理課)	協議会およびワークショップ・訓練を実施した回数 【単年度管理型】	協議会およびワークショップ・訓練を実施した回数	協議会を2回、ワークショップ(訓練を含む)を2回開催した。	4回	4回	4回	4回	4回	目標値どおり	維持	維持	港湾機能の早期回復が図れるよう継続して実施する必要があるため。	災害発生時の港湾機能の早期回復に向けて、名古屋港BCPの実効性を高めていく必要がある。	引き続き、名古屋港BCP協議会を開催するとともに、ワークショップなどを通じて、名古屋港BCPの実効性を高めるため災害時における情報共有などの検討や、行動と手順を確認する訓練を実施していく。
					4回	4回	4回	4回			継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
					16,249千円	16,459千円	16,990千円	17,584千円							
施03 事09	災害対応業務のデジタル化 の推進 (危機管理課)	ドローン、大型映像表示装置の導入および港内カメラの設置 (全2工程) 【進行管理型】	①検討・調査(R3) ②設置・導入(R4)	大型映像表示装置、高性能ドローンおよび港内カメラを導入し、災害対応業務における被災状況の映像情報を迅速に把握できるようデジタル技術を活用して効果的・効率的に行えるようにした。			1工程	2工程	2工程	順調	完了		災害対応業務を効果的・効率的に行うことを目的とした大型映像表示装置、高性能ドローンおよび港内カメラの導入を完了したため。		
							1工程	2工程							
							16,640千円	17,977千円	4年度完了						

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針	
					上段: 成果目標 目標値						成果	コスト	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等			
					中段: 成果目標 実績値											
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)																
施03 事10	沿岸防災情報管理システム などの維持 (危機管理課)	試験通報(到達・応答の精 度) 【単年度管理型】	沿岸防災情報管理システム による通報試験の到達・ 応答精度	操作従事者への試験通報を毎月実施し た。また、業務委託による沿岸防災情報管理 システムの保守点検を6月に実施した。	100%	100%	100%	100%	100%	目標 値ど おり	継続	維持	維持	的確な防災活動に活用できるよう、継 続して維持していく必要があるため。	的確な防災活動に活用できるよう、沿岸防 災情報管理システムなどを適正に維持して いく必要がある。	引き続き、月1回の試験通報や保守点検を 確実にし、適正な状態を維持していく。
					100%	100%	100%	100%				取組および資源 (財・人)の投入 は妥当である。 現状を維持す る。				
					75,856千円	79,038千円	59,084千円	62,345千円								
施03 事11	防災用資機材の確保 (危機管理課)	防災用資機材の数量点検 の実施率 【単年度管理型】	防災用資機材の数量点検 の実施率	防災用資機材の数量の点検を行い、防災 用資機材の補完数量および保管場所を適 正に確保した。	100%	100%	100%	100%	100%	目標 値ど おり	継続	維持	維持	防災用資機材を継続的に確保しておく 必要があるため。	防災用資機材の保管数量および保管場所 については必要に応じて変更する必要がある。 。	引き続き防災用資機材の点検を行い、防 災用資機材の保管数量および保管場所が 適正であるか検討していく。
					100%	100%	100%	100%				取組および資源 (財・人)の投入 は妥当である。 現状を維持す る。				
					8,425千円	6,603千円	5,579千円	6,081千円								
施03 事12	国際港湾施設の確実な保安 対策の実施 (危機管理課)	保安訓練の実施回数 【単年度管理型】	保安訓練の実施回数	埠頭訓練(基本訓練(4回)、総合訓練(1 回))および名古屋港テロ対策合同訓練(1 回)を実施した。また、名古屋港保安委員 会(1回)を開催し、関係機関と名古屋港の 保安の強化に係る情報共有を図った。	6回	6回	6回	6回	6回	目標 値ど おり	継続	維持	維持	国際港湾施設において保安対策を維持 ・強化し、安全性を確保していくこと が必要であるため。	関係機関との情報共有や連携した訓練によ り、保安対策を強化していく必要がある。	埠頭訓練を実施するとともに、名古屋港保 安委員会を活用し、関係機関と情報共有を 行っていく。また、確実な保安対策を実施す るための現場の監視、巡回の強化を図って いく。
					5回	5回	5回	6回				取組および資源 (財・人)の投入 は妥当である。 現状を維持す る。				
					7,257千円	6,333千円	5,924千円	6,559千円								
施03 事13	感染症拡大防止に向けた水 際対策の実施 (危機管理課)	情報提供の実施率 【単年度管理型】	名古屋港保安委員会に情 報提供した割合	/	/	100%	100%	100%	100%	目標 値ど おり	完了	/	/	新型コロナウイルス感染症の感染症 法における位置付けが5類感染症に変 更される事に伴い、これまで国の基本 的対処方針に基づき行ってきた要請 や対策が終了するため。	/	/
					/	100%	100%	100%								
					/	1,832千円	1,800千円	1,800千円								
施03 事14	名古屋港港湾機能継続計 画・感染症編(名古屋港感 染症BCP)の策定 (危機管理課)	協議会および作業部会を 実施した回数 【単年度管理型】	協議会及び作業部会を 実施した回数	/	/	/	4回	/	4回	目標 値ど おり	完了	/	/	/	/	/
					/	/	4回	/								
					/	/	21,750千円	/								
施03 事15	港湾施設の保安対策のため の監視業務等の実施 (港湾管理事務所)	制限区域における危害事 案発生件数 【単年度管理型】	制限区域における危害事 案発生件数	保安対策警備監視業務、埠頭保安機械設 備点検および保守・維持等業務を委託し、 制限区域への出入管理および内外の監 視、当該設備の保守・維持修繕を実施す ることにより、危害事案の発生を防止し た。	0件	0件	0件	0件	0件	目標 値ど おり	継続	維持	維持	ハード、ソフト両面による保安の強化 が必要であるためコストは「継続」と し、成果は危害事案発生件数を0件と することから「維持」とする。	埠頭保安設備の経年劣化に伴う修繕によ り、適切で確実な港湾施設の保安対策を 実施することが課題である。	効率性を勘案しながら、港湾における保安 対策(巡視や制限区域へ入場する際の3点 確認(本人確認、所属確認、目的確認))を はじめ、老朽化が進む埠頭保安設備の維持 補修の実施に係る予算の確保に努める。
					0件	0件	0件	0件				資源(財・人)の 投入を拡大し、 取組を強化す ることによって、 適切な成果の状 況を維持する。				
					435,304千円	449,955千円	378,083千円	361,426千円								
施03 事16	ジェティーストの撤去 (関連事業担当)	事業進捗状況(全3工程) 【進行管理型】	①基本設計 ②実施設計(~R1) ③撤去工事着手(R2) ④撤去工事完了(R3)	/	2工程	3工程	4工程	/	4工程	順調	完了	/	/	/	/	/
					2工程	3工程	4工程	/								
					917千円	76,016千円	106,900千円	/								
施策コスト(合計)					5,238,758千円	5,136,339千円			6,835,591千円							



3. CHECK(成果目標の状況・4年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 [5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	目標値	実績	ha	113ha	121ha	140ha	148ha	307ha	
津波による浸水からの防護面積	目標値	ha			159ha	204ha	258ha	307ha	防潮壁の改良について、令和4年度は費用のかかる地盤改良工を主に行ったため、整備延長が伸びにくい結果となり、防護面積の目標値を達成することができなかった。
	実績	ha		113ha	121ha	140ha	148ha		
計画的な維持補修事業進捗率	目標値	%		40%	50%	60%	70%	80%	「名古屋港管理組合インフラ長寿命化計画」に基づいた維持補修を実施したことにより、計画的な事業進捗を図り施設を維持することができた。
	実績	%		38%	49%	58%	67%		

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
<input checked="" type="radio"/> 適正・見直しが必要	(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)